

ごみ減量!

多摩地域はこうして トップランナーになった!

タイトル通り多摩地域のごみ減量にスポットを当てます。

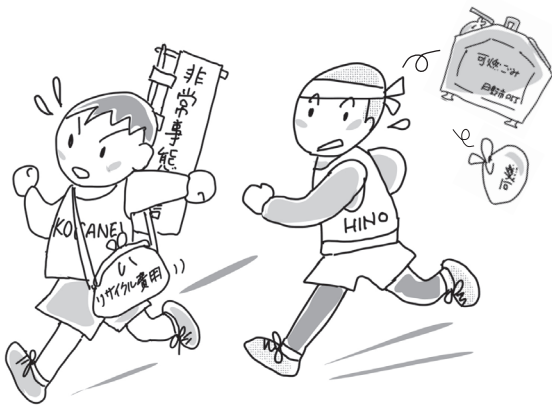
ごみ行政研究の第一人者の山谷先生から、トップランナーとしての多摩地域の特徴についてお話していただきます。

そしてその多摩地域の中でも、ごみ減量のトップを突き進む小金井市と日野市から、

市民でありごみ・環境ビジョン21の運営委員でもある加藤了教さんと小野寺勲さんに、それぞれの自治体がどんなことをしてここまでごみを減らしてきたのか掘り下げた話をじっくり伺います。

行政ではちょっとと言えない話も飛び出しそうです。乞うご期待!

2019年
2月17日(日)
13:30 ~ 16:30



「多摩地域のごみ戦略」 これまでとこれから

東洋大学経済学部教授
山谷 修作さん

多摩地域では「最終処分場の切迫」が契機となり、処分場へのごみ搬入量配分とインセンティブ規制、情報公開を通じた団体間比較競争の枠組み、有料化や戸別収集など「見える化」手法の活用が大きな成果をもたらしました。

これまでの戦略を振り返り、ごみ処理効率化や住民生活支援など新たな取組課題を取り上げます。

日野市のごみの取り組みの 原点はごみ改革

日野市民
小野寺 勲さん

日野市では、2000年10月に、家庭ごみを有料化し、ダストボックスから戸別収集へ変更するごみ改革を実施し、1人1日当たり可燃ごみ収集量は多摩地域でワースト1からベスト1に、総資源化率はワースト1からベスト7に躍進しました。

ごみ改革とその後の取り組みを紹介します。

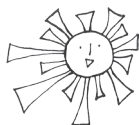
『ごみ非常事態宣言』が 10年続く小金井市

小金井市民
加藤 了教さん

小金井市のごみ問題の特徴は「約11年にわたり広域支援による可燃ごみ処理を続けていること」と「ごみ排出量及びリサイクル率が全国トップクラスを続けていること」です。

近年ごみ減量が鈍化傾向にある中、排出抑制を第一に、生ごみ等の減量と紙おむつ資源化が求められています。

ごみ・環境ビジョン21



〒184-0013
東京都小金井市前原町4-11-15 井上方
TEL: 080-9291-3623
FAX: 042-383-1668
e-mail: gomikan21@docomo.ne.jp
HP: http://gomikan21.com/

申込み不要。
直接会場へおいでください。

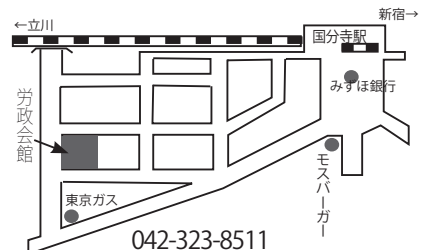
参加費(資料代)
会員・学生: 500円
一般: 1000円

会場

国分寺労政会館

3階 第3会議室

中央線・西武線 国分寺駅南口徒歩5分



042-323-8511